

精神科看護師の患者に対する怒りに関する研究



看護学科(精神看護学)

こいずみ ゆう き

小泉 祐貴

● 連絡先

TEL : 054-202-2674

E-Mail : koizumi.y@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

精神科看護、怒り、アンガーマネジメント、コーピング



精神科医療の現場において、残念なことに看護職者から患者への虐待や暴力が取り沙汰されることが少なくありません。厚生労働省が実施した調査によれば、精神科医療現場における患者への虐待例は 2019 年までの 5 年間で 72 件みられており著しく他科と比較して多い状況です。この背景には精神科特例（精神科病棟では一般病棟よりも医師や看護師の配置基準が緩和されている）による看護人員の配置の少なさ、病棟が密閉空間であること、患者が訴えにくい症状を有しているなどが挙げられます。特に、看護職者の患者に対する『怒り』の感情は、暴力と深く関係しており、厚生労働省は看護職者の患暴力防止及び、怒りの対処スキルを高める取り組みとして、アンガーマネジメントを示しています。精神科医療の現場では、看護職者は日々大きなストレスや負担にさらされています。体系的なアンガーマネジメントの導入は、看護職者自身のメンタルヘルスの維持に寄与するとともに、患者に対するより質の高いケアの提供にもつながります。そこで、精神科の看護職者が患者に対して抱く怒りの内容と認識にどのような特徴があるのか、また現場に即したアンガーマネジメントプログラムのニーズや課題を明らかにしていきます。

アピールポイント

精神科医療現場の看護師と診療情報管理士を経験しています。
医療現場を中と外、両方から見た経験から、医療従事者（援助職者）の援助（心身のケアやサポート）の重要性を感じ研究に取り組んでいます。